

# 町長対談

## 小さいころから夢を持ち続け ご当地アイドルからNGT48のメンバーに

——運営からふるさと大使の話を初めて聞いたときはどう思いましたか。

安藤「リモートで話を聞いて、もうビックリで、頭の中が『?』だらけだったんですけど、こんな機会をいただくことはもう二度とないだろうと思いい、10秒もたないうちに『やりませう』と言いました」

——もともと「アイドルになりたい」と思ったのはいつのことですか。

安藤「きっかけはアニメでした。幼稚園のころ『きらりん☆レボリューション』という、平凡な女の子がアイドルになるという作品があって、キラキラしたステージに立っているアイドルいいなあ、と思って、そこからずーっと、周りにはアイドルになりたい、という夢を言い続けてきました」

——普段のツイートを見ても、相当アニメが好きなんだろうなと。

安藤「きっかけはアニメでした。幼稚園のころ『きらりん☆レボリューション』という、平凡な女の子がアイドルになるという作品があって、キラキラしたステージに立っているアイドルいいなあ、と思って、そこからずーっと、周りにはアイドルになりたい、という夢を言い続けてきました」

——「夢を言い続けてきました」という夢を言い続けてきました。

——普段のツイートを見ても、相当アニメが好きなんだろうなと。

安藤「男の子だったらサッカー選手になりたいとか、女の子ならアイドルになりたい、と思う子がたくさんいて、ある時点で現実を見るようになってしまいました。それも仕方ないですが、そんな中、私は『アイドルになりたい』とずっと言い続けてきました。でも、『へえ、そうなの(笑)』って。笑いつきの反応なんです。それが悔しくて、絶対になんてやる！って思って、ずっと貫いてきました。なんで夢を笑われなくちゃいけないんだろうというのが一番強くて」

——地元でもアイドル活動をしていましたね。

安藤「中学校2年生からですね。もともとアイドルになるために通っていたダンススクールが芸能プロダクションをつくるということになって、もう一人やりたい、と言う子が出てきて、2人組として活動するようになりました」

——ご当地アイドルってすごく地味な活動だと思うんですが。

安藤「地道にライブをやって、グッズを売って、って感じだったんですが、つらいというより楽しかったです。ずっとやりたいアイドルだったので」

——始める前にあきらめる人もいれば、ご当地アイドルになったとしてもそこで先がないと思う人も多いですよな。

安藤「暗いことを考えてもいいことないじゃないですか。ポジティブにとらえようと楽しいことが起こるかもしれない



御代田町のブランド力向上に向け、町にゆかりのあるかたにPR等の活動をお願いする「御代田町ふるさと大使」の制度が9月、スタートし、早速第1号として、新潟県を中心に活動するアイドルグループ「NGT48」の町内出身メンバー安藤千伽奈さん(19)を迎えました。アイドル活動にける熱意や今後の大使活動に向けての思いを聞きました。(文/町長・小園拓志)

## 御代田町長 小園拓志 × 安藤千伽奈

御代田町ふるさと大使

いつて考えていました。その活動は2年くらい続いて、高校1年の時に終わったのですが…」

——その後は?

安藤「ライブ配信アプリのSHOWROOMというのがあって、アマチュア枠で始めていました。そこでファンのかたから『NGT48って知ってる?』というコメントがあって、調べてみたら…。(主要メンバーの一人)萩野由佳さんが総選挙のスピーチで『私をアイドルにしてくれてありがとう』と言っているのにすごいグッときてしまって、こんな素敵なグループ、いいなって思っ…そうこうしているうちにドラフトのオーディションがありました。高校2年生で進路を決める時期でもあったので、これ

が最後のチャンス、と思って臨んだんです。ファンの皆さまの投票制だったので、日々レッスンを続けて頑張っていました」

——ドラフト会議では4巡目で指名があったんですね。

安藤「指名は5巡目までだったんですが、4巡目が悔しくて、1巡目がよかったんです。けど！それが悔しくて、でもそれがその後の活動の大きなバネになったので、結果的によかったのかなと。同期で最初に公演に出てやる！って頑張りました。だから、当時のマネージャーさんから電話で公演が決定したと聞いたときは号泣でした。これ(夢が)かなったなあって。それが2018年の6月です。指名されたのが1月21日だったので、そこから5カ月くらいで

すね」

——それまでの活動とはどう違いましたか。

安藤「やってるステージが違うんです。距離が近くて、最初ビックリしてしまって。音響も大きくて。心臓に直接音が来る感じがあって。感動しました。新型コロナの影響で長くステージに立ってない時期もあったんですが、久々にステージに立てるとそれだけでウルツときちゃいます」

——ご自身のウリってなんだと思いますか。

安藤「身近さ、接しやすい部分なのかなって思います。NGT48加入後もSHOWROOMでファンの皆さまと接しているんですが、私生活も普通に言っちゃうので、『今日スーパーに行つて、これが安かったんだよ!』とか言ってます(笑)」

——ダンスが得意ってよく言われていますね。

安藤「もともとご当地アイドルをやったから人より覚えるのが早かったんですが、周りが成長するにつれて、別々自分が特別うまいってわけじゃないんだなと思うようになりまし。その中で自分で磨き上げたつもりなのが曲の

中の表情です。歌詞の意味を考えた、曲を聞きこんだり、ということを重ねて」

——どんなアイドルになりたいですか。

安藤「実はまだ悩んで。想像がつかないんです。でもだからこそ、これから何にでもなれると思ってます」

——大使としてはどういう活動をしていきたいですか。

安藤「御代田町って、観光の町という感じではないと思うんです。今の段階では。なので、私が、こんな景色が御代田では見られるんだよとか、SNSでたくさん発信していきたいです。今までは実家の写真をアップしても場所が特定できないようにしなくちゃいけない。言えるので、楽です。このお店がおいしいよ、とかもこれからは気兼ねなく言えます」

——おにかけうどんが好物ですな。

安藤「前に役場の近くに食べられるお店がありましたよ。ね。父と姉と一緒に食べました。でも今はなかなか食べるチャンスがなくて残念です」

——千伽奈さんがおにかけスタンドやりますか?! オリジナルおにかけのレシピを考えた



てもらったり。

安藤「えーほんとですか。頑張ります! (笑)」

——最後に町民の皆さまにメッセージをどうぞ。

安藤「御代田町について知らないことがまだまだたくさんあるので、皆さまの力をお借りしたいです。町民の皆さまに受け入れていただけるように活動していきたいと思ひます。特に、夢を持っている子どもたちとお話する機会があればいいなって思ひます。せっかくなので夢をあきらめず持っている夢をあきらめたいなって思ひます。夢を持って人々を笑うのはいいなって思ひます。町として夢を持ってもらいたいことはたくさんあります。まず一歩一歩やっていきましょうね。

安藤「はい、頑張ります!」